

第420号

発行  
浄土真宗  
心光寺  
奥原曇龍  
倉敷市早高426  
☎(086)420-1311



# 温かく生きる



カット：本多紘子

謹んで新春のお喜びを申し上げます。昨年の夏は猛暑が長く続いたので、秋らしい秋を素通りして寒い冬が一変にやっ来て来ました。師走は木枯らしが吹き、新型コロナウイルスやインフルエンザが流行しましたが、皆様お元気ですか。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

年末年始のお寺の行事はたくさんあり、愚僧は少し疲れますが、みなさんが集まってきて下さると、嬉しくて元気を取り戻せます。大きなお寺や神社は正月三が日は参拝客が集まり大変賑やかですが、小さなお寺は自分の御門徒さんもお参りが少なく淋しいです。お寺は年がら年中仕事があるようでないで決まった休日も取れず、後継ぎの子供たちには人気がないのが残念です。それでも忙しいときは、親の手伝いを黙ってしてくるので感謝しています。

愚僧が師走に入って新聞を読んでいると、キラキラとしたクリスマスの街頭風景や、歳末のおせち商戦、新幹線で故郷に向かう子連れの乗客……。そんな景色を見て気が重くなったり、孤独を感じたりするという人たちが増えているという記事を読み驚きました。

なぜ年末年始が「つらい」のか、理由を聞くと、それぞれの人の答えが返ってきました。故郷の両親の仲が悪く、お正月は居心地が悪か

\*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

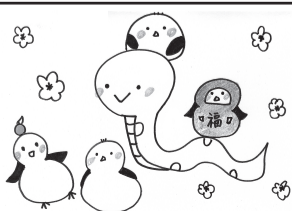
ったので都会に出てからは故郷に帰りたくなかったとか、男兄弟たちは正月に帰省すると父と酒を飲みご馳走を食べただけだが、娘の私は母と一緒に料理を作らされ正月気分にはなれなかった。また日本人はキリスト教でもないのに、「キリスト誕生の前夜祭」に突然にキリスト教に変身したかのようになって、恋愛がらみのおしゃれな消費をすることに焦らされる若い人が多い。この時期に恋人がいらないといった若い人たちが蔑視やさげすみの眼で見られるような風潮は、恋愛資本主義という経済活動に毒されている、年末年始はつらいそうです。

令和7年こそは世界が平和で戦争や紛争のない国々になって欲しいと願う愚僧ですが、ロシアのウクライナ侵攻による戦争もまもなく3年になります。北朝鮮がロシアに援軍兵を送ったのも戦争が激化し、誠に残念なことです。昨年の12月13日にロシアに援助されていたシリアのアサド政権が崩壊しましたが、これによってシリア国内が平和になるという保証もないので、中東地域はますます混沌として戦争の火種が大きくなることを願うばかりです。

『大無量寿経』の中の「重誓偈」に「神力演大光 普照無際土 消除三垢冥 廣濟衆厄難」とありますが、「仏様は不思議の力が輝きて、あまねく心の闇の世を照らす。欲と怒りと愚かさの煩惱の災いを永遠に除くことを誓って下さっています」という意味です。人間の世界は自己中心で、自分の思い通りにしようとする欲と、思い通りにならないければ腹を立て相手を傷つける。そして自己を正当化するために愚痴という愚かな智慧で嘘八百を並べ立てる。つまりフェイクニュースを流し続けて、自分の思い通りの世の中にしてしようとして害毒をまき散らすのです。どこかの国の大統領の行動にそっくりです。

若い人たちが希望の持てる日本の国になって欲しいな。特殊詐欺に関わって、犯罪を犯す若者たちの生活は淋し過ぎます。また、身寄りのない高齢者が増えているのも淋しいことです。みなんで支え合い、助け合える明るい世の中になりたいですね。合掌 (奥原 曇龍)

『人間は欲と怒りの愚かさで 傷つけ合うのはもう止めようよ』 どんりゅう



カット：府川 綾

## ともしび説法

日時・一月 一日「水曜日」 午後一時半から四時頃まで。  
二月 五日「水曜日」 午後一時半から四時頃まで。  
場所・倉敷市早高426 新本堂 電話086-420-1311

ともしびを読みたい方、お寺についてもっと知りたい方 [心光寺 倉敷 検索](#)



# お釈迦様ものがたり

お釈迦様が雨期の安居(室内で勉強)を竹林村で比丘たちと予定していたが、竹林村一帯が飢饉にして食を求めがたく、従者のアーナンダと二人だけで安居に入りました。

ところが、お釈迦様が安居に入られた時、急に恐ろしい病を生じて、死に近きほどの激しい苦痛が起こった。比丘衆(僧)を教訓せずして入滅(死)することは、仏陀としての私にふさわしくないと、この病を耐え忍び、奇跡的に回復せられます。

従者のアーナンダは、住居から出てきたお釈迦様を見て、「世尊よ、私は師のあなたが病で亡くなると思うと四方は明るくなく、暗い沈んだ気持ちになりましたが、比丘たちに最後の尊い言葉を語るまでは入滅なさらないだろうと思っていたので安堵しました」と座して申し上げました。

この旨を聞いたお釈迦様は、「アーナンダよ、それでは比丘たちは自分に何を期待し求めているのか。自分は仏法において何一つ惜しむこと無く、内外すべてを弟子たちに教え与えてしまっている。自分には師拳(師匠が物惜しみをして拳のように握りしめて与えないでいること)はないのだ。また、自分が比丘たちを導こうとか、比丘たちは自分に頼っているとかいう考えも自分には無い。われも老い、衰え、老衰し、すでに80歳の高齢となり、自分の肉体はあたかも古車がガタガタとなっていて、あちこちを革紐で縛りつけてやっと保たれている。ゆえにアーナンダよ、他を頼りとして、ただ自己と法とを頼り(自灯明、法灯明)として、住すべきである」と語られました。

また、比丘は身体について観察し、考え深く住し、この世界において、食欲と憂い悲しみを排除せよ。かくして比丘は自らを依り所とし、仏法を依り所とせよ。さすれば必ず最高処に至ると……。合掌 (奥原豊龍)

元且や何かと気ぜわし女たち

お寺に参りこころ晴れやか 田辺多恵子



12月10日 心光寺本堂にて『ともしび説法』

## ともしび法話

「明けまして南無阿彌陀仏」  
一昨年の12月30日に、母の博子前坊守が膀胱癌で浄土に旅立ち、心光寺の新坊守と突然になって、戸惑いだらけでした。  
本年も、門信徒の皆様や総代様たちの温かいご支援を宜しくお願い申し上げます。  
心光寺新坊守(ぼうもり) 府川 綾

博子前坊守が浄土に還られ丸一年。心光寺の皆様、日増しに淋しさが大きくなられていることでしょうか。博子様の存在は、優しく思いやりのある方で、人間としてこの上ない方でした。綾様も活躍下さい。  
倉敷市西中新田 東 民子

年末年始とお寺は年がら年中忙しそうですね。お寺の大掃除も大変ですが、みんな綺麗にすれば、心も磨かれますよ。  
倉敷市亀島 磯永 充利

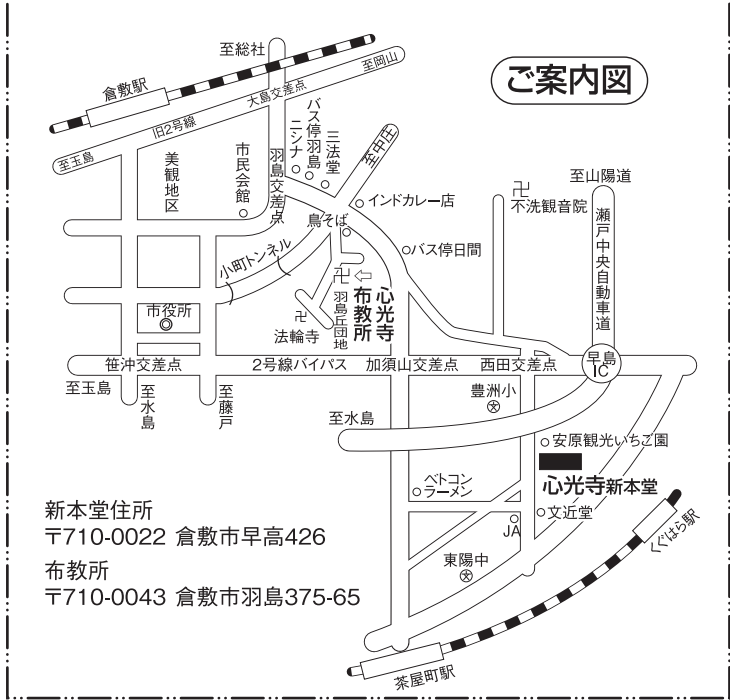
令和7年の元且を迎えることが出来、心光寺の総代・世話人さんたちに感謝しています。御先祖様たちに感謝し、自分らしく精一杯、今年も歩みたいと願っています。  
心光寺総代長 本家 豊彦

## ともしび説法

日時・一月 一日「水曜日」 午後一時半から四時頃まで。  
二月 五日「水曜日」 午後一時半から四時頃まで。  
場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて  
電話・(086)420-1311 駐車場有り  
(宗派を問わず、はじめに人生を考えているあなたに参加していただきたいのです。)

○ともしび説法・お寺の行事予定  
三月 六日(木)・午後一時半から四時まで・早高の本堂。  
四月 二十日(日)・午後一時から四時頃まで・早高の本堂。  
春の永代経法要(儀式と仏教講演)

☆ともしび会は、月額五百円の会費制です。(賛助会員募集中)。  
ともしび新聞を毎月発行し続けていますが、たくさんの方がいらして下さる方があれば嬉しく思います。  
会員には、ともしびを郵送させていただきます。(お電話下さい)

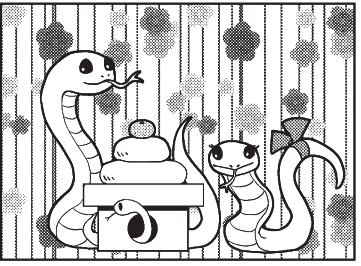


◎ともしび制作費に御寄付ありがとうございました。  
岡山市 津田様 4千円  
玉野市 川西幾子様 倉敷市 匿名 1万円

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしようにん)です。お葬式の時にあわてて葬儀屋さんを紹介してもらうより、自分でお寺は決めよう。

## しんこうの詩

新しい年が来たよ  
いつまでも元気で今を生きよう  
憂きことふえる世の中こそ  
笑顔忘れず 愚痴も言うまい  
老いは仕方ないが 心は若く  
思いやりといたわりの心で  
自分らしく 今年も生き抜こう



カット:吉岡美枝



〒710-0022 倉敷市早高426  
浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺  
TEL(086)420-1311 FAX 420-1322  
携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「420号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。1月1日のともしび説法の日には茶屋町駅西口に12時30分にお寺より自動車でお迎えに行きます。自動車の送迎が必要な方は心光寺までご連絡下さい。合掌 総代長 本家豊彦